

令和7年度天名小学校研修計画

1. 研修主題

研修主題【天栄中校区共通研修テーマ】

自ら学び続けるこどもの育成～未来を切り拓く天栄のこども～
全教科・全領域

2. 研修主題設定の理由

今年度の研修主題を設定するにあたり、天栄中学校区の研修長が集まり、各校の現状や課題を話し合った。その研修長会議の際に、目指すこども像として以下のような意見が挙がった。

- ・自ら課題を見つけ、課題を解決していくことができるこ。
- ・社会に出てからも、自分の力であらゆる困難に向き合い、人と協働しながら未来を切り拓いていくことができるこ。
- ・予測困難な世の中を、生涯にわたって学び続け続ける未来を自分で切り拓いていこうとするこ。

このような目指すこども像を設定し、今後の学校再編を見据えて、今年度は天栄中学校区共通テーマとして研修主題を設定することとなった。

また、本校はリーディングDXの連携協力校となっている。今年度は指定校の天栄中学校/郡山小学校の研修授業にも参観しながら、学びの機会を得ていきたい。

(参考)

リーディングDXスクール

GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国の好事例を展開するための事業

校務DX(デジタルトランスフォーメーション)

→校務の効率化にICTを活用すること

- つまり…クラウドブックに入っているものを活用して
- ・児童の情報活用能力UP
- ・個別最適な学びと協働的な学びを充実(複線型)
- ・校務の効率化

3. 授業提案について

授業提案は以下のように進めていく。

- ・研究グループは、2グループ体制で行う。(1～3・養護・専科) (4～6・特支)
- ・全体研は、3本行う。(低・中・高)
- ・全体研を行わない学年は、部内研を行う。
- ・特支、専科、養護は部内研を行う。(昨年度までは公開研→今年度は変更)
→研修テーマに合わせづらい部分もあるが、授業者・参観者にとっても年1回の研修の場なので、今年度も実施。また、事後研修会で質問の場や授業のふりかえり等をしていくことにより、研修の価値をさらに高めていきたい。

4. 令和7年度 校内研修年間予定(研究授業は、1学期1本、2学期2本の予定。)

月	内容	月	内容
4	・今年度の研修概要 ・救命救急研修 ・学調／みえスタ採点	10	・第2回授業実践交流ウィーク
5	・第1回授業実践交流ウィーク 5/26～5/30 ・指導案様式	11	・研究授業
6	・研究授業	12	
7		1	・みえスタ分析 ・第2回人権レポート研修会
8	・学調／みえスタ分析 ・第1回人権レポート研修	2	・R7年度研修のまとめ ・郡山小学校研究発表会参加 2/13
9	・研究授業	3	・学校再編のため、未定

5. 研修の取り組みについて

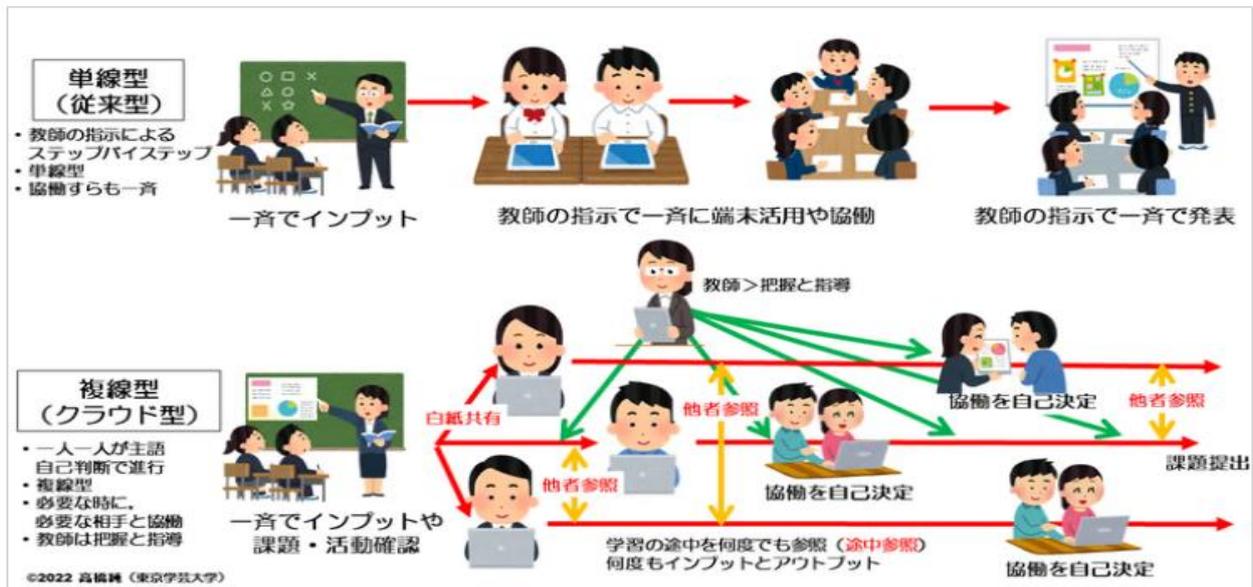
今年度の研修を進めていくための3本柱は以下のように考えている。

- (1) 複線型の学習の取り組み (ICT、本、インタビューetc)
- (2) ICT活用能力の向上
- (3) 家庭学習の充実

①複線型の学習の取り組み (ICT、書籍、インタビューetc)

学ぶ力、学び続ける力の育成を目指して、課題に向かって個別最適な方法で学習に取り組む機会を増やしていく。

単線型→複線型への授業転換(R6 校長先生からのお話より)



【非構成的協働:一人や自ら協働したいペア・グループ等で】へ

- ・低学年から聴き合える関係(話し名人・聞き名人)づくりを大切にする。固定したペア学習・グループ学習から始めてもいい。
- ・他者参照や途中参照(学習の途中に何度でも他者の考えを参照できる)環境づくり(スライド・ミラインド)

(2) 学習方法

教科書や副読本をベースに、学校図書室の活用(年鑑等)やインターネットの活用

(3) 学習課題【教員から示された課題】から、【自ら設定した課題】へ

めあてを達成するために、問い(疑問)をみつけ、自ら調べる

(4) 学習過程【クラス全員が同じペースで進行する】



【自分のペースで 自分の判断で進行する】

課題の設定・情報の収集・整理・分析・まとめ表現

- ・見通しをもって学習に向かう環境づくり(単元全体の流れ・本時の流れを教員が示す)
- ・その単元で、どこを調べさせたいのか、明確化する。
- ・すべての授業でできるわけではないので、できそうなところから複線型を意識して取り組む。

②授業実践交流ウィーク(年間2回)

- ・児童の様子や指導実践などを交流することを目的として、指導者が互いの授業を参観する。
- ・年間2回、5月と10月にそれぞれ1週間程度の期間を設ける。(5月26日~30日の予定)
- ・指導案等の作成はなし。

【実施方法】

- ・授業実践交流ウィークまでに、研修のクラスルームに授業者が授業の概要やポイント、見てほしいポイント

等を投稿する。

- ・授業を参観する。(担当クラスの児童に問題を解かせている時間等、短時間でもよい。)
- ・参観後、参観者は児童の様子や指導実践など気付いたことなどをコメントする。

③リーディングDX事業指定校 授業参観

天栄中学校公開授業 6月30日(月)、9月30日(火)、11月18日(火)

郡山小学校公開授業 5月12日(月)3・4年生、9月16日(火)5・6年生、11月17日(月)1・2年生

2月13日(金)

↑この6日間の日程で、1回は授業参観をする。事後研は都合があれば参加。

現時点で、何年生がどの日か不明なので、決まり次第伝達。

難しそうなら、授業者に口頭・メールなどの方法で、授業の感想を伝える。

④ICT活用能力

- ・情報活用能力体系表を活用した指導。低中高の指導事項を意識して、適宜指導を進めていく。

→教委特設サイト ICTシェアサイトにデータあり

- ・ICT支援員さんに依頼して、ICT活用実践交流会を行う。

月1回、30分程度

内容:学びたいことを事前にアンケートを取り、教えてもらう。

ほかの小学校で好評だった研修など。

- ・天名小学校での実践紹介

各クラスで取り組んでいるICTの紹介

- ★複線型の授業の取り組み、ループリックの作り方、スプレッドシートの使い方など、すでに実践されている先生のお話など。

(操作、一緒に作るなどのワークショップ形式で夏休みぐらいにできるといいな…)

⑤自主学習ノートの取り組み

- ・学び方、学び続ける力の育成において取り組みをはじめめる。
- ・2学期から、2年生以上で自主学習を宿題で取り組む。
- ・自主学習ノートについては、学年費より購入。
- ・頻度や量は、学年に応じて担任が決める。
- ・月2回、全校児童が見られるようにノートをコピーして掲示。自己肯定感、他者参照につなげる。

日々の授業で大事にしていきたいこと

(1) 話し方・聞き方について

話し方名人

低学年
・あいてを見て
・はっきりとした声で
・ゆっくりと
・さいごまで

中学年
・相手を見て
・はっきりとした声で
・大事なことをおとさずに
・最後まで

高学年
・相手を見て
・相手に伝わる声で
・速さに気をつけて
・要点をおさえ、筋道をたてて
・最後まで

聞き方名人

低学年
・さいごまで
・話している人を見て
・よいしせいで
・うなずきながら

中学年
・話している人を見て
・うなずきながら
・最後まで
・大事なことをおとさずに
・感想や意見を言う

高学年
・話している人を見て
・うなずきながら
・最後まで
・話し手の思いを受け止めて
・自分の考えと比べて
感想や意見を言う

<理由(わけ)をはっきり>

わたしは、・・・だと思います。なぜなら、・・・だからです。

<意見を聞いて>

〇〇さんと 同じで、
似ていて、
付け足して、

(2) 「めあて」と「ふりかえり」の充実

単元のゴールやその授業のめあてを学年の実態に合わせて提示し、1 時間何を学習するのか目的を持たせて学習させる。授業の終わりには、学んだことを中心に、「ふりかえり」を行う。

【例】 ×「〇〇についてよく分かった。」×「〇〇が難しかった」

→ 「今日は、・・・について学習した。今までは・・・だったけど、
〇〇さんの意見を聞いて、・・・と思った。」など。

(3) 読書活動

- ・各教科単元の学習で図書室を積極的に活用していく。読書や資料探し、並行読書、読み聞かせなど、語彙力や読解力をつけさせる。
- ・読み聞かせボランティアさんや教師による読み聞かせを継続して行う。
- ・巡回図書指導員さんの積極的な活用をする。

(4) 学習規律を徹底して、学習環境を整備する。

- ・手の挙げ方 ・あいさつの仕方
- ・座り方 ・チャイム前着席
- ・「聞き方名人」「話し方名人」
- ・教室内の整理整頓(子どものロッカーも含む)
- ・見やすいノートの使い方指導(問題・めあて・まとめ・振り返り)
- ・児童の机の上の学習道具(教科書・ノート・筆箱・クロームブックなど)の配置